

平成30年 7月19日
国土交通省中部地方整備局
愛知国道事務所

「けんせつ小町・チーム“愛”」 「働き方改革」女性技術者が活躍できる職場を目指して！！ ～最先端建設ICT勉強会開催します～

1. 概要

愛知国道事務所では、女性技術者を中心に結成された「けんせつ小町・チーム“愛”」の活動の一環として、国が推進する建設ICT※の勉強会を開催します。

この勉強会は、最先端の建設技術を活用し活躍をする女性技術者も講師に迎え、建設ICTの活用事例から、女性の働き方改革に対する効果を考察します。

※建設ICTとは、調査・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設生産システムにおいて、効率化・高度化による生産性向上に寄与する情報通信技術のこと。

(Information and Communication Technology)

2. 効果

建設ICTを活用する効果として「施工時間の短縮」「ドローン活用による重い測量機器を用いた測量の削減」「3次元データ作成による丁張※作業の削減」などあげられ、「時短」「力作業の省力化」「育児期間などでの在宅勤務(テレワーク)での作業が可能」などに繋がり、女性技術者の働き方改革につながると考えています。

※丁張とは、土工事などを施工するとき、施工面、切り土、盛土、法こう配などの基準を示す仮設物のこと

【当日の概要】

日 時 平成30年 7月26日(木) 13時00分～17時00分(予定)

場 所 【3. 場所】に記載のとおり

参 加 予 定 者 「けんせつ小町・チーム“愛”」メンバー 約30人



3. 資料

【1. 概略行程】、【2. イメージ写真】、【3. 場所】

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

5. 問い合わせ先

愛知国道事務所 副所長 堀 豊裕 (ほり とよひろ)

建設監督官 井口 稔也 (いぐち としや)

TEL:052-761-1191(代表) FAX:052-761-1199(代表)

愛知国道事務所ホームページ : <http://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/>

※当日の取材を希望される場合は、必ず事前に問合せ先に連絡いただくようお願いいたします。

なお、事務所からの送迎も調整可能ですので必要な場合は問い合わせください

【1. 概略行程】

(予定)

13:00～14:00 「CIM導入ガイドラインの解説と活用事例」

14:00～15:00 「設計段階でのBIM/CIM活用事例」
(「阿蘇大橋」復旧業務の事例など)

15:00～16:00 「施工段階でのBIM/CIM活用事例」
(PC橋における事例など)

16:00～17:00 意見交換会

BIMとは:コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することであり、建設ICTの一つである。(Building Information Modeling)

CIMとは:社会資本の計画・調査・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても、情報を充実させながらこれを活用し、事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムにおける受発注者双方の業務効率化・高度化を図ることあり、建設ICTの一つである。(Construction Information Modeling/Management)

【2. イメージ写真】



女性技術者が講師として講義を行っている様子

3. 場所

①勉強会会場

小川監督職員待機所
(名古屋市港区小川三丁目)



現場女性休憩所「りんくるハウス」
(小川監督職員待機所内)



小川監督職員待機所

